

全国有数の生産地なのに
野菜を食べていないなんて
ありえな———い！



SDGs 未来都市

豊橋市





愛知県 豊橋市

- 人口約37万人の中核市
- 東京・大阪へは約80分（新幹線）
- 農工商バランスのよい産業構造
- ウミガメもくるサーフタウン

課題

全国平均・愛知県平均に比べ、糖尿病（予備群を含む）が多い。

車社会、運動不足、食生活、夜勤、間食が多い...など要因は様々

★市民の野菜摂取量が低い現状に注目★
全国有数の野菜生産地であることは、本来、強みなはず！

目標

野菜摂取・栄養改善による糖尿病予防を推進し、ヘルスケア先進都市へ。

これまでの取組

- 新しいフードカルチャーを創出「豊橋市食・農プロジェクト」
- ヘルスケア分野の官民連携「健幸なまちづくりパートナーシップ」
- 中部経済産業局主催「ガバメントピッチin中部」登壇
- 愛知県スマートシティモデル事業に採択
- 愛知県スタートアップ支援拠点「PRE-STATION Ai」に参画
- 市独自の健康経営推進制度「とよはし健康宣言事業所認定」

事業内容

市民生活の動線上に、野菜摂取・食生活改善につながる仕掛けを用意する。

ICTでわかる

野菜摂取量や栄養データの
取得・管理サービス

例) PHRアプリ
セルフ検査
野菜摂取量推定機器 等

ICTでつながる

- ① 仲間同士で健康づくりに
取り組めるサービス
- ② 市民同士がまちづくりの
アイデアを出し合うコミュ
ニケーションツール

フードテック

野菜摂取・栄養改善につな
がる新サービス

例) プラントベースフード
ミールキット
オフィス置き食 等

みんなの食育

海外のヘルスケア先進都市
の食育施策

こどもからシニアまで
豊かな食生活を身に着ける

官民共創（豊橋市健幸なまちづくりパートナーシップ等）

企業様へのお願いと得られるメリット

- ① 企業版ふるさと納税によるご寄附 ⇒ 税優遇、従業員エンゲージメント、イノベーション・市場掘り起こし
- ② 本市との官民共創 ⇒ 新サービスの実証実験、事業者として新サービスの提供、
スタートアップ支援体制